

第3次千葉県住生活基本計画 検討の方向性について

● 検討にあたっての視点について

☆第2次改定時の3つの視点

- ・住宅の質および住環境の向上への取り組みについて
- ・高齢者の住まいに係る住宅セーフティネットの構築について
- ・「多主体参加型協働」による地域社会の持続的発展に向けた施策のあり方について

○全国計画での目標（案）

- ・良質な住宅ストックの形成及び将来世代への継承
- ・ライフスタイルやライフステージに応じた多様な居住ニーズの実現
- ・住宅の確保に特に配慮を要する者の居住の安定の確保
- ・良好な居住環境の形成による地域の価値の向上と豊かなコミュニティの形成

○千葉県での動向

- ・人口減少、少子高齢化
- ・人口構造や世帯構成の変化
- ・空き家の増加

★視点

- (1) 良質な住宅の供給及び既存住宅ストックの利活用
- (2) 社会的弱者への重層的かつ柔軟な住宅セーフティネットの構築
- (3) 千葉県の地域特性や居住ニーズを考慮し、地域を活性化させるための取り組み

● 全国計画や県内の住生活に係る状況を加味し、「分野別目標」を設定し、必要に応じて再構成（変更）する。

- ・第2次計画改定時では、「分野別目標」や「施策の種類」は当初計画を基本的に踏襲している。

● 観測指標の導入

- ・直接的でないが、成果指標の進捗状況を判断できる指標を導入する。